

# 週刊

# 学びのコミュニティ

第 19 号

平成 21 年 7 月 1 日発行

## 学びのコミュニティ 勉強会を行いました!

この紙面でも予告いたしました通り、6月25日(木) 14時30分から16時まで、学生支援室にて、勉強会が行われました。テーマを決めてざっくばらんに話し合ひましょう、と言う時間は毎週火曜日に設けておりますが、このような勉強会と言う試みは初めてのこと。教員・社会人・学生、合わせて14名が参加、『**ともに生きる～多文化共生時代へ～**』をテーマに、嵯峨山和美特任助教からの話題提供で会が進んでいきました。

まず、中学3年生が活用している「公民」の教科書を実際に手にしながら、現在の大学生がどんなことを学んできて現在に至るのか、その事実を確認し合いました。今回参加して下さった社会人の方の多くにと

って馴染みのない「公民」と言う教科に、初めは戸惑いを感じていらっしやるようでした。しかし、学生さんが受けてきた教育を改めて知ったことで、学生さんのこんな面は歯がゆく感じる、しかし、こんな面は優れていると思う…そんなありのままの姿を認めることに繋がったのではないかと思います。学生さんとのコミュニケーションにおいて、大人側からのアプローチの仕方も見直す必要があるのでは…自分が社会の一員として大切な存在であると確かめることが出来る教育を…そんな意見が出されました。多世代間交流を円滑に促すための、よい学びの場になったのではないのでしょうか。

今回は…**社会人 田村真夫さん** (非常勤講師として数々の授業に参加中です) からの話題提供です。

『**社会人としての自覚**』をテーマに、社会人の目線から日々感じていることをお話ししていただきます。意見交換しながら、多世代間交流のヒントにしていけたらと思います。

\*日時：7月2日(木) 14時30分～16時

\*場所：学生支援室

学生、社会人、教職員のみなさまのご参加をお待ちしております!



### 6月の学生支援室

この1ヶ月で本の貸し出しを利用した方、延べ45人以上。もちろん、空き時間などにその場で読んでいる方も大勢いらっしやいます。ある学生さんは毎日のようにこの部屋に通い、23冊もの本を手にとってくれました。尚、お探しの本がある場合は、リストがありますので、お気軽にお声をお掛けください。

また、カンパ缶のお金(6/4～6/18で630円集まりました)で、お茶・砂糖・クリープを買わせて頂きました。

これからもどんどん学生支援室を利用して頂けたらと思います!

### ～編集後記～

7月に入りました。7日は七夕、この日は夜の天気気がなるころです。晴れの天気の割合は、札幌と那覇で2年に1回、仙台や福岡で3年に1回。東京や大阪になると、10年のうち1回か2回しか、七夕の星空を楽しめないそうです。ご存じのようにこの時期は、ちょうど梅雨前線が本州のあたりに停滞しているためです。本州付近で、織女星&牽牛星を見られるのは、幸運な年と言えそうです。さて、今年はどうでしょうか?みなさまの心の短冊にしたためた願い事がどうか叶いますように。(境)

